

◆ 平成 26 年度（前期）県立広島大学 学部・学科・研究科（専攻）等による FD 活動（教育改善）報告一覧

実施主体	コーディネーター	日時	実施場所	実施内容
人間文化学部 国際文化学科	学科長 高等教育 推進部門委員 学科教務委員	毎月第 1, 3 火曜 学科教員会議ほか	会議室および 演習室等	テーマ 27 年度以降の教育プログラム・履修モデルの作成および 3 ポリシーの見直し 参加者数 学科教員全員および学科教務委員ワーキング 簡単な状況報告 教育改革に基づき、27 年度からの履修モデル作成を実現する。昨年度の教員アンケート・学生アンケートの結果を承け、6 月段階でプログラム・モデルの原案を作成した。その後、共通教育部門等の方向を確認し、課程表の修正とそれに伴うプログラム・モデルをとりまとめ中である。
保健福祉学部 看護学科	山中 道代	第一回 8 月 5 日（火） 13:00～14:30 第二回 8 月 29 日（金） 13:00～14:30	4 号館 4601 会議室	テーマ 議論を「見える化」する技法を身につけるための取り組み 参加者数 第一回 20 名（看護学科:18 名, 作業療法学科:1 名, 生命科学科:1 名） 第二回 16 名（看護学科:13 名, 作業療法学科:2 名, 生命科学科:1 名） 簡単な状況報告 第一回では、書籍、「ファシリテーション・グラフィック」の基礎編を読みながら内容の理解を行った。第二回では、1 回目の内容をふまえ、提示されたテーマについて模擬会議を行い、その内容をファシ・グラの技術を使い板書の体験を行った。
保健福祉学部 看護学科 教育課程検討会	岡光 京子	4 月 18 日（金） 14:20～16:00	4 号館 三原地域連携 センター	テーマ 学生を育てるために求められること 参加者数 看護学科教員 28 名, 実習指導者 19 名 簡単な状況報告 実習担当者と意見交換を行うと共に、実習に関する様々な事柄について情報共有した。
	松森 直美	7 月 10 日（木） 10:30～11:00	4 号館 4601 会議室	テーマ 卒業生への面接調査結果報告 参加者数 看護学科教員 20 名 簡単な状況報告 統合実習の資料収集を目的とした卒業生への面接調査結果の報告を行った。
保健福祉学部 理学療法学科	田中 聡	①4 月 23 日（水） 14:40～15:10 ②5 月 28 日（水） 14:40～15:10 ③7 月 2 日（月） 16:00～17:00 ④8 月 6 日（水） 14:40～15:10 ⑤10 月 1 日（水） 9:00～9:30	2409 会議室	テーマ 理学療法学科における学内および臨床教育の改善 参加者数 ①15 名, ②14 名, ③14, ④13 名, ⑤14 名 簡単な状況報告 ①「理学療法における「ナラティブ」の重要性を学生にどう教えるか」（沖田一彦）理学療法学科の新カリ教科「理学療法模擬患者演習Ⅱ」（3 年次後期開講予定）の内容と方法論の検討 ②「理学療法学生の就職をめぐる最近の動向」（沖 貞明）日本理学療法協会の公開資料等を使った今後の求人状況の変化とそれへの教員の対応 ③「理学療法における「ナラティブ」の重要性を学生にどう教えるか」（沖田一彦）新カリ教科「応用理学療法学特論Ⅲ」（3 年次後期開講予定）の内容と方法論の検討 ④「神戸市立医療センター中央市民病院の PT レジデント制度の紹介」（小野武也）医療特区にある神戸市立医療センター中央市民病院の臨床実習受け入れおよび卒業教育システムの説明 ⑤「中央教育審議会資料から探る大学教育の将来」（塩川満久）文部科学省の今後の大学教育に対する方針についての考察

保健福祉学部 作業療法学科	山西 葉子	8月6日 12:30～13:00 講師 西田征治	2号館 2416室	<p>テーマ 国際基準の作業療法教育。 参加者数 15名 簡単な状況報告 2014年6月18日～21日まで横浜にて世界作業療法士連盟大会が開催された。そのプレワークショップとして6月16日に開催された Education day ではカリキュラムデザインの変革、専門職や学生に求められるコンピテンシーに関してカリキュラムの形成と適用、カリキュラム開発についての世界各国の意見交換が行われた。参加した西田先生からその概要について報告してもらい、世界の作業療法教育の動向について情報共有を行った。</p>
保健福祉学部 コミュニケーション障害 学科	渡辺 眞澄 津田 哲也	<p>①5月1日 12:15～13:00 ②5月12日 13:00～17:00 ③5月29日 12:15～13:00 ④6月6日 12:15～13:00 ⑤7月14日 13:00～17:00 ⑥7月22日 12:15～13:00 ⑦8月13日 12:15～13:00 ⑧9月22日 13:00～14:00</p>	1309 演習室他	<p>テーマ 教員および実習指導者の研究・教育方法の共有と向上 参加者数 おおむね 15名～30名 簡単な状況報告 ①模擬患者コミュニケーション演習について（小澤由嗣先生）②学外実習施設の言語聴覚士との意見交換会 ③就学移行支援への取り組み-予備的追跡調査-（堀江真由美先生）④喉頭全摘後のリハビリテーション-言語聴覚士の役割-（Corina van As-Brooks, Ph.D. オランダがんセンター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科言語聴覚士・研究員, Atos Medical AB Clinical affairs Director）⑤学外実習施設の言語聴覚士との意見交換会 ⑥動画配信を使った授業展開と Course Management System について - 現状と課題 -（細川淳嗣先生）⑦失語症者の語彙意味理解障害—失語症者は語から何を読み取っているのか？—（津田哲也先生）⑧音声の可視化と操作の最新の話題と応用の可能性について（河原英紀先生 和歌山大学システム工学部 教授） 5月1日、7月22日、8月13日の会は、学科教員が行っている研究の紹介と教員同士の意見交換が行われた。5月12日、29日、7月14日の会では、学外実習施設の言語聴覚士を交えて、実習指導における問題点、指導上の工夫点等について情報を共有し、意見を交換しあった。6月6日、9月22日の会では、学外講師による最新の研究発表・学科教員との討議が行われた。</p>
保健福祉学部 人間福祉学科	江本 純子	<p>①7月8日 16:20～17:50 ②7月14日 13:00～16:10 ③7月14日 9:00～10:30 ④7月18日 10:40～12:10 ⑤7月22日 13:00～14:30 ⑥7月28日 14:40～16:10</p>	<p>①4204 ②4602 ③4204 ④3205 ⑤2202 ⑥4103</p>	<p>テーマ 福祉士養成教育再考:高水準の福祉を実現できる人材の養成をめざして 参加者数 ①2名（家族支援論：大下由美）②3名（社会福祉実習指導Ⅱ：担当教員）③3名（社会福祉援助演習Ⅲ：西村いづみ）④__名（社会保障論Ⅰ：都留民子）⑤3名（地域福祉論Ⅰ：田中聡子）⑥5名（介護技術：國定美香） 簡単な状況報告 人間福祉学科では、平成26年度FD活動として、年間を通じて全教員が1回以上の授業公開を実施し、2回以上の公開授業参加を実施している。前期は、6科目の授業公開を実施し、それぞれ2～5名の参加があった。</p>